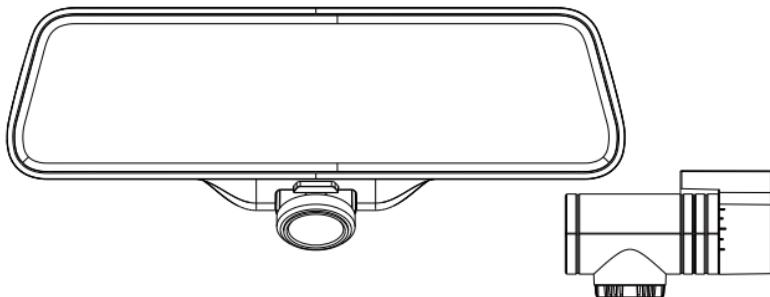


取扱説明書

AKEEYO

GPS搭載で前後同時録画スマートミラー

AKY-V360



この度は、ドライブレコーダーをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

お問い合わせ先：サポートセンター

TEL : 048-888-0217

Email:custservjp@yahoo.co.jp

9:30~13:00 14:30~19:00(土・日・祝祭日・年末年始除く)

目次

はじめに

■ 安全上のご注意(必ずお守りください)	1~3
■ 使用上のご注意(必ずお守りください)	4
■ 商品構成一覧表	5
■ 各部の名称と働き	6~7

準備

■ microSDカードについて	8~9
■ 日時設定について	10
■ 本機の取り付け	11~13
■ リアカメラの取り付け	14
■ 電源オン/オフについて	15
■ モニター画面(タッチパネルスクリーン)	16
■ フロントカメラ画面表示モード	17~18
■ リアカメラの表示	19

操作方法

■ 動画記録	20~22
■ 再生モード(ファイル再生/削除)	23~24
■ PC ビューウィーについて	25~26
■ 設定メニュー	27~28

その他

■ トラブルシューティング	29
■ その他	30
■ 保証について	31
■ 仕様	32

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品とは異なる場合があります。
- 各画面写真はハメコミ画合成で、色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	注意	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	禁止	絶対にしてはいけない事項
	強制	必ず守るべき事項

警告

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

- 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。
(ヒューズ:2.5A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

- 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルトやナットを絶対に使用しない

- ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

- 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる

- 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないよう引いてしまって固定しておく等をしてください。事故やけがの原因になります。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12V/24Vマイナスアース車で使用する

- ⚠ DC12V/24Vマイナスアースの車専用です。それ以外の車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- 🚫 煙ができる、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

分解や改造はしない

- 🚫 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- 🚫 あやまつて、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ⚠ 内部に金属物や燃えやすいものなどがあると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁処理する

- ⚠ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ● を外しておく

- ⚠ バッテリーのマイナス端子 ● を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

指示に従って正しく配線・取り付けを行う

- ⚠ 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ⚠ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

車載用以外には使用しない

 車載用以外(例えはレジャーポートやアウトドア等)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

強い衝撃を与えない

 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

 ショートや断線により、発火や故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けない

 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

 雨や洗車などで水がかかつたり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けない

 強い曲面等に取り付けると、走行中に外れる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

感電の原因になるので、接触禁止

 車載用以外には使用しない強い衝撃を与えない雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔を塞がない

 本機内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。
安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保障するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、
弊社は一切その責任を負いかねます。

⚠️ 警告

取付中はエンジンを切る



本機の取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で取り付けると、感電及び故障の原因になります。

磁気性があるものに近づけない



本機の近くに磁気性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

画質が落ちることがあります



トンネル入出時のように、急に明るさが変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源がないなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする



車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射と屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

信号機の色を認識できないことがあります

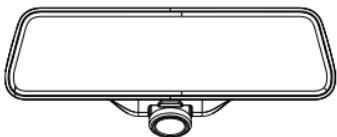


LED方式の信号機では画面がちらつくことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

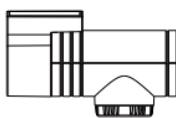
商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認して下さい。

■ 本体



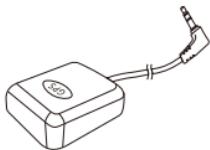
■ リアカメラ



■ シガーアダプター



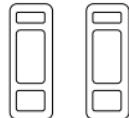
■ GPSユニット



■ リアカメラ電源ケーブル



■ 取付ゴムバンド×2



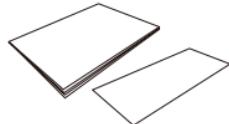
■ microSDカード



■ リアカメラ取付ステー



■ 取扱説明書・保証書



⚠ 使用上のご注意

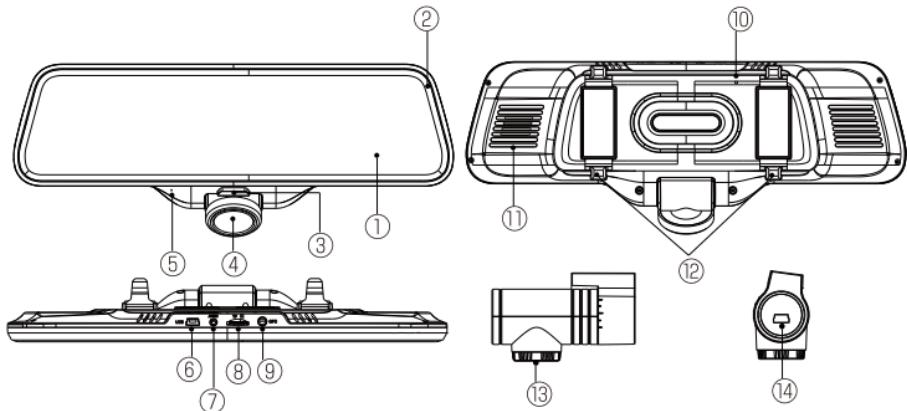
1 シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターに接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になります。
- シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12V/24V)を超えた電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本機故障の原因になります。

2 リアカメラ取付について

- ステーを取り付ける前に、リアガラスの表面をきれいにしてください。ホコリ・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。
- 付属のリアカメラ以外のものを使用すると、本体/リアカメラが過電流で壊れる可能性があります。予めご注意ください!

各部の名称と働き



①液晶モニター

ご注意:工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

②ルームミラー

この部分には画面が表示されません。※タッチしても液晶画面が反応しません

③電源ボタン

電源オン/オフまたはスクリーンオフ(画面の表示/非表示)が行えます。

・約3秒間長押し:電源オン/オフになります。

・電源オン状態短押し:スクリーンオン/オフします。

④カメラレンズ

前向き/下向きに可動することができます。

ご注意:工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

⑤マイク

周囲の音声を録音します。

⑥電源ケーブル接続mini USBポート

付属のシガーアダプターを接続します。

⑦リアカメラ入力端子(AV IN)

付属のリアカメラ電源ケーブルを接続します。

各部の名称と働き

⑧microSDカードスロット

microSDカードを挿入します。

⑨GPSユニット接続ポート

付属のGPSユニットを接続します。

⑩リセットスイッチ

リセットスイッチを押すと、本機が再起動します。

⑪スピーカー

操作音や動画ファイル再生時に録音された音声が出力されます。

⑫取付固定具

純正のルームミラーに取り付ける際使用します。

⑬リアカメラレンズ

ご注意:工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

⑭リアカメラ電源ケーブル接続mini USBポート

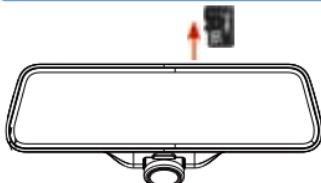
付属のリアカメラ電源ケーブルを使用して、本体とリアカメラを接続します。

microSDカードについて

以下の手順に従って、microSDカードの取り外しおよび挿入を行ってください。

⚠ 注意 記録されたファイルを消失しないように、別の記憶装置に定期的にバックアップしてください。

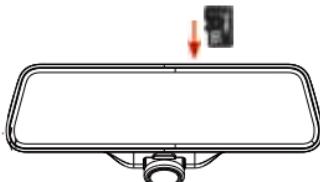
microSDカードを取り外す



本機の電源がオフになっていることを確認してから、カチッという音が聞こえるまでmicroSDカードを挿入すると、microSDカードが取り外すことができます。

⚠ 警告 本製品の電源がオンになっているときにmicroSDカードを取り外すと、データの破損や本機の故障になる恐れがあります。
microSDカードを取り外す際、飛び出しがありますので、紛失にご注意ください。

microSDカードを挿入する



microSDカードの向きを確認して、カードスロットに差し込みます。
カチッという音が聞こえるまで確実に差し込んでください。

⚠ 警告 本製品の電源がオンになっているときにmicroSDカードを挿入すると、データの破損や本機の故障になる恐れがあります。

<microSDカードをご使用になる前に、次の内容を確認してください>

- 付属のmicroSDカードを使用してください。指定以外のカードを使用されると、データ破損や記録できない場合があります。
- 本体の電源が入った状態で、microSDカードの抜き差しをしないでください。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットから電源アダプターを抜き、本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。
- 動作LEDが点灯している状態でmicroSDカードを取り出すと、ファイルやカード自体が破損する恐れがあります。
- microSDカードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをお勧めします。
- 本機は、8GB～64GB (Class10とその以上) のmicroSDカードに対応しています。ただし、全てのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。
※推奨=16GB～32GB
- microSDの定期的なフォーマットをおすすめします。フォーマットをしないと、正しく録画ができない場合があります。※推奨1ヶ月/1回

microSDカードのフォーマット

SDカードのフォーマットについて

長時間、microSDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が生じることがあります。

定期的にフォーマット(microSDカードの内在初期化すること)をお勧めします。

【フォーマット手順】

- 1.SDカードが本体に装着されていることを確認
- 2.設定メニュー内にある「システム」を選択
- 3.「システム再設定」のフォーマットを選択
- 4.「確定」を選択する

⚠️ 警告

※SDカード内に保存されている録画データが全て消去されますので、大切なデータはフォーマットする前にパソコン等へバックアップしてください

※ファイル断片化について

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。

そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをお勧めしています。

日時設定について

手動設定

本機の日時設定を手動的に設定できます。

- 1.録画を停止します。
- 2.モニター画面にタッチしてから、メニューバーを表示します。
- 3.アイコンにタッチすると、本機の設定メニュー画面が表示されます。
- 4.【システム設定】にタッチすると、システム設定画面が表示されます。
- 5.「日時設定」項目にタッチして、日時の設定が調整できます。

※日時設定方法については、「P28」を参照ください。

GPS受信後自動同期

本機にGPSアンテナを接続して、GPSが受信すると、自動的に本機の日付と時刻を同期します。

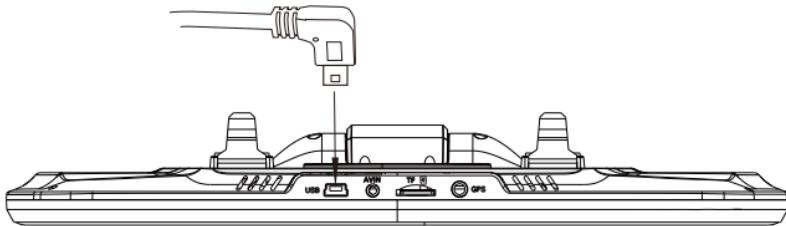
※GPS受信ができない環境に長時間保管された場合、時刻ずれが生じることがあります。

※GPS受信成功後、手動的に本機の日時設定ができません。それは不具合現象ではございません。

本機の取り付け

電源ケーブルの接続

エンジンがオフになっていることを確認してから、付属のシガーアダプターを本製品の電源端子に接続します。



本機の取り付け

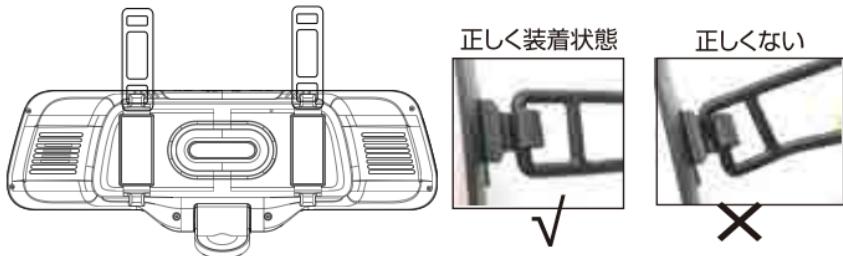
取付固定用ゴムバンドを使用して、車の純正ルームミラーに本機を取り付けます。

⚠ 取り付け上のご注意

本機を取り付ける前に、次の内容をご確認の上、取り付けてください。

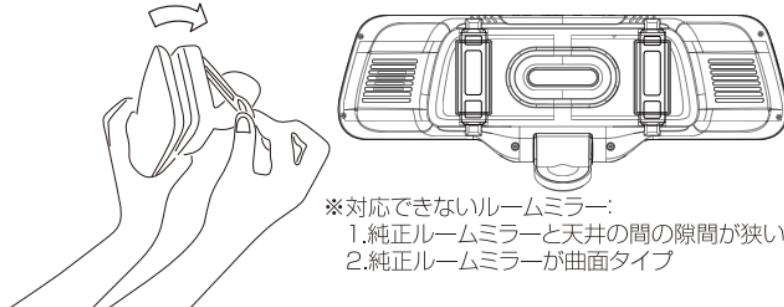
- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しくお取り付けください。
- 車に取り付ける際には、視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ミラー面には衝撃を与えないでください。破損だけがの原因になります。
- 車検証ステッカーなどに重ならないように取り付けてください。
- 本機は防水構造ではございません。水などで本機やシガーアダプターなどが濡れないようにご注意ください。
- 降雨時などにも鮮明に記録できため、本体とリアカメラをワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際には、安全装置が動かず、けがの原因となります。

1.付属の取付固定用ゴムバンドを本機の取付固定具の上側に引っ掛けます。



2.本体を車純正のルームミラーに装着

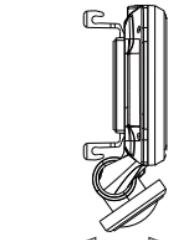
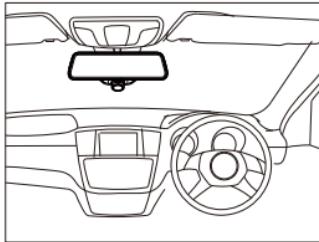
純正ルームミラーを挟み込んで、ゴムバンドを取付固定具の下側に引っ掛けます。
※取り付けの際、本機をしっかりと支えながら取り付けてください。



本機の取り付け

3.取付完成

取付完成後、純正ルームミラーの状況により、カメラレンズの角度を微調整できます。
一番撮影良い角度に調整してください。



カメラレンズの角度が調整可能

取り付けイメージ



⚠ 警告

- ※本機の取り付け位置は前方の視界を遮ることがないようにご確認ください。
- ※ゴムバンドを無理に引き出さないでください。破損により固定力が弱くなります。
- ※確実にゴムバンドを装着していないと、走行中に脱落する場合があります。
- ※本機のミラーで車の後方状況をしっかりと見えることを確認ください。事故などの原因になります。

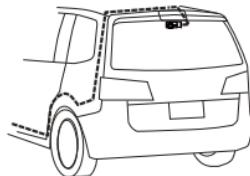
リアカメラの取り付け

取り付けと配線



レンズの角度を調整後、貼り付け面の油分や汚れを拭き取り、よく乾燥させた後に、両面テープでしっかりと後部ガラスに貼り付けます。

※必ず実際の映像を確認してから、後部ガラスに貼り付けてください。



バックドアやトランクを開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線をおこなってください。

リアカメラおよびケーブルに損傷ができると、カメラ内部やケーブルに湿気や水が入り、破損の原因となることがあります。

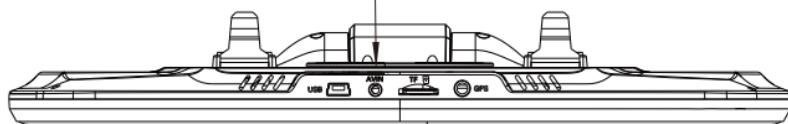
※左図イラストでは、車内下側を配線していますが、車種によっては、リアカメラケーブルの取り回しにより、車内上部(ルーフ、内張内等)を通す必要があります。

リアカメラを接続する



リアカメラの電源端子と付属のリアカメラ接続ケーブルの電源端子を接続します。

リアカメラ接続ケーブルを本製品のリアカメラ入力端子に接続します。



⚠ 注意

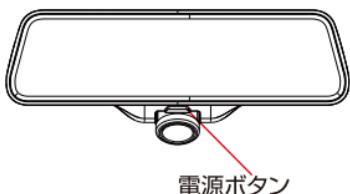
※取り付け車種によっては、指定の位置に取り付けることができない場合があります。

※取り付け位置によって、太陽光などの光の反射の影響を受けやすくなる場合がありますので、取り付けの際は、適切な位置を確認しながら取り付けをおこなってください。

※リアカメラを取り付ける際は、本製品の液晶画面で映像が上下逆さまにならないことを確認してください。

電源オン/オフについて

電源をオンにする



<手動操作>

電源ボタンを約3秒間押してから放すと、電源オンになります。

<エンジン運動>

エンジンを始動すると本機に電源オンになります。

⚠ 注意 電源をオンにしてから、システム起動まで、約20秒の時間がかかります。

電源をオフにする

<手動操作>

電源ボタンを約3秒間押したままにすると、電源がオフになります。



<エンジン運動>

エンジンを停止すると、左図のようにモニター画面にメッセージが表示されます。

「電源オフ」をタッチすると、本機の電源がオフになります。

メッセージ表示されている時に、約10秒間操作しないと、電源オフになります。
「取消し」をタッチすると、約1分後に再度メッセージ表示されます。

スクリーンオフ

モニター画面表示されている際、電源ボタンを短押しすると、画面がスクリーンオフとなります。再度、電源ボタンを押すまたはモニター画面をタッチすると、画面が再度表示されます。

⚠ 注意 録画中に画面を非表示にしたときも、録画は継続されます。

<製品使用上の注意事項>

| エンジン運動ON機能について

本製品は、取り付け車両のバッテリー電圧のコンディションや配線の取り回しによっては、車のエンジンを始動した場合、エンジン運動で起動しない場合があります。また、本体の内蔵バッテリーの充電状態(空もしくは充電不足等)によっても、正しく動作しない場合があります。

その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。また、充電不足もしくは長期間、本製品をご使用にならなかつた場合は、通電を行い、充電をするようにお願いいたします。

| アイドリングストップ車での電源OFFについて

アイドリングストップ車で本製品をご使用されている場合、車両のバッテリー電圧のコンディションによって、アイドリングストップ状態からエンジン始動のタイミングで製品の電源がOFFとなる場合があります。その場合、本体側の電源ボタンで電源を入れるようにしてください。

モニター画面(タッチパネルスクリーン)

モニター画面にタッチすることでさまざまな操作が可能となります。映像表示されているときにモニター画面にタッチすると、約10秒間メニューバーが表示されます。

メニューバー表示内容



- 1 動画撮影
- 2 静止画撮影
- 3 再生メニュー
- 4 設定メニュー
- 5 フロントカメラの画面表示モードメニュー
- 6 バッテリー残量
- 7 日付時刻
- 8 GPS受信アイコン
·アイコンがない:GPSアンテナ未接続
·灰色:未受信
·緑:GPS受信成功
- 9 リアカメラ画面
※リアカメラを接続しないと、表示しません。
※ダブルクリック(素早く2回タッチ)すると、リアカメラの画面が全画面表示します。再度ダブルクリックすると、フロントカメラの画面に切り替えます。

メニューバー(録画中)表示内容

録画中はメニューバー表示が以下となります。



- 1 録画中アイコン(赤く点灯します)
※アイコン内の数字は、1ファイルあたりの録画時間。
※録画中にタッチすると、録画を停止します。
- 2 静止画撮影
※タッチするとシャッター音とともに、フロントカメラが1枚静止画を撮影します。
- 3 タッチするとアイコンがオレンジに変わり、録画中のデータを約20秒間ロックします。
※自動で上書きされないファイルとして保存します
※ロック開始するとキャンセルできません。録画を停止するしかない。
- 4 設定 アイコン
- 5 フロントカメラの画面表示モードメニュー

フロントカメラ画面表示モード

フロントカメラの画面表示モードメニューアイコンをタッチすると、表示モードを切り替え画面が表示されます。5つの画面モードを選択することができます。

表示モード

ワイドアングルモード

カメラを前向きにして、フロント方向を広角度で撮影します。



球面モード

カメラを下向きにして、フロント方向を円形に撮影します。



フロント & バッグモード

フロント及びバッグ(車内運転席)方向を左右2分割にして表示します。



左中央右モード

フロント及びバッグ(車内運転席)方向を左中央/右3分割にして表示します。



マルチウィンドモード

全方位の撮影範囲を前後左右に4分割にして表示します。



フロントカメラ画面表示モード

画面表示モードの切り替え

録画中や録画停止中、記録ファイル再生中に、画面表示モードを切り替えることができます。モニターにタッチしてメニューバーを表示し、☰ アイコンをタッチすると、画面モード選択メニューが表示されます。

画面操作

画面の回転

モニター画面をスワイプすると、画面表示を回転させることができます。

※ワイドアングルモードは非対応

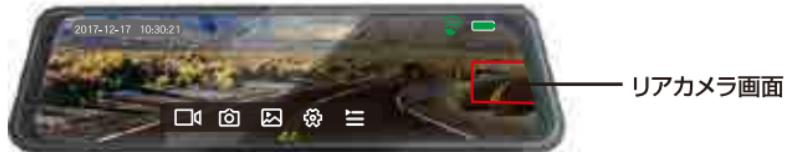
全画面表示

フロント&バック、左中央右、マルチウインドウモードでは、画面をダブルタッチ(素早く2回タッチ)すると、タッチした画面が全画面で表示されます。

元の画面に戻すには、再度画面をダブルタッチします。

リアカメラの表示

リアカメラの表示



リアカメラを取り付けることで、リア映像を液晶画面に表示することができます。
液晶画面の右側のウィンドウにリアカメラの映像が表示されます。

リアカメラ映像が表示されているワイプ画面にダブルクリック(素早く2回タップ)すると、リアカメラの映像が全画面表示に切り替わります。

リアカメラの映像が全画面表示の時、液晶画面にダブルクリック(素早く2回タップ)すると、フロントカメラの映像に切り替わります。

リアカメラ正像 / 鏡像切り替え

工場出荷時に、リアカメラの映像表示が正像です。
設定画面でリアカメラの映像表示を鏡像に設定ができます。
※詳細設定方法をP27に参照ください。

- ⚠ 注意**
- ※リアカメラの映像だけで後退するのはおやめください。
 - ※後退するときは、必ず目視で確認しながら行ってください。
 - ※リアカメラの映像は、表示モードの変更や画面表示の回転はできません。
 - ※リアカメラが映し出す範囲には限界があります。
 - ※夜間や暗い場所など、使用状況によって画質が低下する場合があります。
 - ※設置については、販売業者または専門業者にお尋ねください。

- ⚠ 警告** 本製品専用のリアカメラとなります。ほかの製品(他社製品含む)に接続すると、故障の原因となりますので、接続しないでください。

動画記録

撮影データのファイル構成

本製品で撮影された各データは、microSDカードに保存されます。

動画データは、常時録画の設定時間毎に分割され、microSDカードの容量が上限に達した場合は、古いファイルから自動的に上書きされます。

※重要なデータの消失を防ぐために、定期的なバックアップをお勧めします

※常時録画時間の設定方法については、「P27設定メニュー」を参照ください

-  A フロントカメラの常時録画された動画ファイル
-  B リアカメラの常時録画された動画ファイル
-  G GPS位置情報データ
-  pic フロントカメラで撮影した静止画ファイル
-  sos ロックされた動画ファイル(自動上書きされません)

⚠ 注意 Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像やファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、自動で上書きされません。

ロックされたファイルが増えると、通常録画で保存される空き容量が減少しますので、必要に応じてファイルを削除してください。

※ファイル削除方法については、「P24再生モード(ファイル再生/削除)」を参照ください

動画撮影方法

<自動撮影>

自動録画モードがオンに設定しているときは、電源オンで本機が起動すると、自動的に録画が開始されます。

※自動録画モードのオン/オフについては、「P27設定メニュー」を参照ください

<手動撮影>

モニター画面にタッチしてメニューバーを表示し、アイコンをタッチして撮影を開始します。アイコンがオレンジ色に切り替わり、画面左上に録画中アイコンが点滅します。

動画記録

動画撮影停止方法

画面モニターにタッチしてメニューバーを表示し、アイコンにタッチすると、動画撮影が停止され、画面左上の録画中アイコンが消えます。



※アイコンに表示される数字は、設定した1ファイルあたりの記録時間に因って異なります。
記録時間の設定については、「P27設定メニュー」を参照ください。

静止画撮影

モニター画面にタッチしてメニューバーを表示し、アイコンをタッチします。
表示されている映像を静止画撮影します。

※録画中でも撮影することが可能です

※フロントカメラのみ静止画対応、リアカメラは録画だけ、静止画が撮れません。

ファイル保護(ロック)

録画中ファイルをロックする



- 録画中に画面モニターのメニューバーを表示し、アイコンをタッチします。
- アイコンがオレンジ色の表示に切り替わり、動画ファイルをロックします。

撮影した動画ファイルを保護し、自動的にファイルが上書きされないよう保存することができます。
約20秒間ファイルを保護し、通常録画に戻ります。

衝撃感知録画

録画中、衝撃を感じると衝撃感知機能が作動し、録画中のファイルとは別に感知後から約20秒間の録画ファイルを保護し記録します。

約20秒後に衝撃感知録画を終了し、通常録画に戻ります。

※衝撃感知機能は本体のみで働きます。リアカメラでは機能は働きません。

動画記録

駐車監視モード

エンジンを停止して本製品の電源がオフになった後でも、衝撃を感じると感知後の映像を録画することができます。

駐車監視モードで録画された映像ファイルは保護されます。

駐車監視モードを作動させる



- 電源がオンのときにエンジンを停止すると、画面に左図の操作メニューが表示されます。
- [駐車監視]を選択すると、画面表示が消え、約1分後に駐車監視モードが作動します。
- 駐車監視モード作動中に衝撃を感じると、感知後の映像を約20秒間録画し、その後、再び駐車監視モードに戻ります。

⚠ 注意

- ・ 監視モードは内蔵バッテリーで作動します。その為、バッテリーが減ると駐車監視モード停止します。
- ・ 監視モードが作動すると、「ピーン」というBEEP音が鳴動します。音声設定で消音にするときは、このBEEP音は鳴動しません。

※駐車監視モードが作動する時、液晶が点灯しないが、録画がしています。

※音声録音設定については、「P27設定メニュー」を参照ください。

※バッテリーの状態により、駐車監視モードが可動できる時間が変動します。

※駐車監視モードに入ってから、本機の電源ボタンを長く押しても電源オンになれません。
エンジンをオンにすることのみ電源オンになります。

駐車監視モードからの復帰

エンジンを始動すると、通常録画モードに戻り、駐車監視モードを解除します。

⚠ 注意

- ・ 自動録画モードがオフに設定されている場合でも、駐車監視モードから復帰したときは自動で録画開始されます。

※自動録画モードについては、「P27設定メニュー」を参照ください。

別売りの駐車監視用常時電源ケーブル

別売りの駐車監視用常時電源ケーブルを購入の場合は、「P32保証について」のサポートセンターにご連絡してください。

再生モード(ファイル再生/削除)

撮影した動画もしくは静止画ファイルを本機で再生させることができます。

再生モードに入り

- 画面モニターにタッチしてメニューバーを表示し、アイコンにタッチすると、動画撮影が停止され、画面左上の録画中アイコンが消えます。
- アイコンをタッチすると、再生モードに入れます。

ファイル選択

- モニター画面をタッチしてメニューバーを表示し、ファイル管理メニューを表示します。
- 撮影したカメラの種類を選択します(下図参照)。
- 表示されたファイルをタッチします。



フロントカメラ
(本製品で撮影した動画)



リアカメラ
(リアカメラで撮影した動画)



フロントカメラ
(本製品で撮影した静止画)

動画再生画面

- 1 一つ前の動画を再生
- 2 再生/一時停止
- 3 次の動画を再生
- 4 画面表示メニュー表示
- 5 前画面に戻る



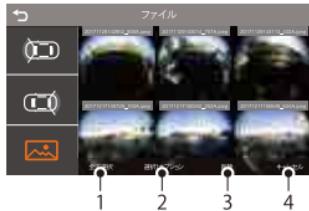
静止画表示画面

- 1 前の静止画を表示
- 2 次の静止画を表示
- 3 画面表示メニュー表示
- 4 前画面に戻る



再生モード(ファイル再生/削除)

動画/静止画の削除



削除したいファイルを長押しすると削除メニューが表示されます。

- 1 全てのファイルを選択
- 2 選択しているファイルの数
- 3 削除の決定
- 4 キャンセル

PCビューウーについて

専用のアプリケーションを使用すると、録画した映像をPC上で様々なアングル表示再生ができます。

PC動作環境

PCビューウーを実行するための動作環境は以下の通りです。

- OS : Windows 7以降(64ビット推奨)
- CPU : Intel Core i5以降
- メモリ : 4GB以上
- その他 : DirectX 9.0 以降 /Microsoft Explorer のバージョン 7.0 以降

*Macには対応していません

*すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません

*パソコンの処理能力により、お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。

注意事項

- ・PCビューウーの正常動作はインターネット環境が必要となります。
- ・地図表示内容は予告なく仕様変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・パソコンのスペックにより、動作しない場合があります。
- ・OSのアップグレード環境、マルチブート環境での動作は保証しておりません。
- ・自作パソコン、タブレットでの動作は保証しておりません。
- ・パソコンの環境によって、カードが認識できなかったり、一部機能をご利用いただけない症状が発生する場合があります。その際の損失やそのほか直接もしくは間接的な障害などにつきまして、当社及び販売店などに責任を負いかねます。予めご了承ください。
- ・パソコン、周辺機器環境などに関するお問い合わせは、各メーカーまたは販売店にお問合せください。

PCビューウーのインストール

PCビューウーのインストールファイル(VeSee_setup.exe)は、録画用のMicroSDカードのルートメニューに保存されています。

手順に従い、PCビューウーのソフトをパソコンにインストールしてください。

- ① MicroSDカードをPCに接続します。
- ② インストールファイル「VeSee_setup.exe」をダブルクリックして、自動的にパソコンにインストールを行います。
- ③ インストール完了後、デスクトップに「VeSeeGo」アイコンが表示されます。
- ④ 「VeSeeGo」アイコンをだぶるクリックして、PCビューウーが起動します。

PCビューウーについて

5 「VeSeeGo」アプリケーションの表示画面。

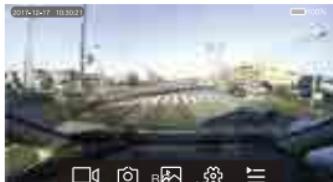


- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 1.動画再生画面
(※フロントカメラのみ) | 13.ボリューム調整 |
| 2.動画ファイルの選択
(※フロントカメラのみ) | 14.フル画面表示 |
| 3.動画再生/一時停止 | 15.GPS位置情報 |
| 4.プレイリスト表示/非表示 | 16.走行スピード |
| 5.前の動画へ切り替え | 17.Gセンサー情報 |
| 6.次の動画へ切り替え | 18.動画再生循環モード |
| 7.動画再生停止 | ・順次再生 |
| 8.動画時間(再生時間/総合時間) | ・オールリピート |
| 9.カメラの向きを変更 | ・ランダム |
| 10.前後2画面モード | 19.プレイリストから
動画ファイル削除 |
| 11.マルチアングルモード | 20.プレイリストの動画
ファイルを全削除 |
| 12.ワイドアングルモード | |

設定メニュー

本製品の各種設定(撮影記録設定/システム設定)を行ないます。

設定メニュー



モニター画面にタッチしてからメニューバーを表示し、
アイコンにタッチすると、本機の設定メニュー画面
が表示されます。

※録画を停止してから設定メニュー画面に入れます。



設定別項目の「記録」または「システム」をタッチして、
設定したい項目の設定値を選択します。

<記録>

1 ループ録画

通常録画時に保存される1ファイルあたりのループ
記録時間を「1分」「2分」「5分」から選択します。

2 Gセンサー

衝撃感知モードが作動する感度設定をします。

低：低感度。(強い衝撃で作動)

中：通常の感度。

高：高感度。(弱い衝撃で作動)

3 フリッカレス

周波数を選択します。

50Hz:東日本でご使用の場合に選択します。

60Hz:西日本でご使用の場合に選択します。

4 自動録画モード

本機の電源をオンにしたときに、自動で録画が開始
されるモードのオン/オフ設定を選択します。

5 音声録音

録画中の音声録音のオン/オフを選択します。

6 バックカメラ鏡像

リアカメラの映像を画面に表示する設定の
オン/オフを選択します。

7 スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定時間を「1分」「2分」
「5分」「オフ」から選択します。

設定メニュー



<システム>

1 言語設定

表示言語をThai/English/简体/繁体/日本語/Pyccknnから選択します。

2 輝度

スライドバーを操作して、輝度を調整できます。

3 音量設定

スライドバーを操作して、録画時の音量および本機の操作音を設定できます。

消音にする場合はスピーカーアイコンをタッチします。

4 時間設定

日付または時刻にタッチして日時設定を行ないます。

5 システム

フォーマット:MicroSDカードに記録されたファイルをすべて削除します。※保護ファイルも削除します。

工場出荷設定:本機の設定を向上出荷時の設定に初期化します。
※リセットを行って後、本機は再起動します。

6 ファームウェア

ファームウェアのバージョンが表示されます。

トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前に、まず下記項目をご確認してください。全ての項目を試しても改善されなかった場合は、サービスセンターまでお問合せください。

こんなとき	原因と対応
本製品の電源が入らない エンジンを停止したとき、または本製品が作動しているとき、すぐに電源がオフになってしまいます	シガープラグや接続ケーブルはしっかりと接続されていますか？ 各種ケーブルの断線などが無いかを確認してください。 本製品の電源端子が外れていませんか？ 本製品の内蔵バッテリーの充電がないと、駐車監視モードが正常に起動できません。しばらく充電を行ってください。
異常動作	リセットボタンを押し、本機を再起動してください。
記録された動画、静止画が表示されない、または壊れている	microSDカードをフォーマットしてください。 新しいmicroSDカードに差し替えてください。
記録が出来ない	適切なmicroSDカードを挿入してください。
再生の際、音が出ない	音声設定の音量を確認してください。
常時録画ができない	保護ファイルがmicroSDカードにたくさん保存されている可能性があります。不要なファイルを削除してください。
タッチパネルが操作できない	システムエラーの可能性があります。リセットボタンを押し、本機を再起動してください。
液晶画面が表示しない	画面が非表示になってしまいか？画面をタッチするか、電源ボタンを押下してみてください。
映像画面が突然赤くなる	光源がなく、真っ暗な状態から急に明るい環境になった場合もしくは真っ暗な状態になった場合に一瞬だけ映像画面が赤く表示される場合があります。 ※起動直後、リアカメラ映像が一瞬、赤くなる場合もあります →カメラセンサーの性質であり、本体の異常ではありません。
他の車載器に影響が出る (テレビが映らない等)	高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。 また、ETCアンテナ付近に設置すると誤動作する場合があります。 →テレビ、ラジオ、ETCアンテナ等から50cm以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。 また、車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。

その他

内蔵バッテリーについて

- 内蔵バッテリーには寿命があり、消耗品となります。
- 内蔵バッテリーは消耗に伴い、膨張する場合があります。これはリチウム電池の特性であり、安全上問題はありません。
- 内蔵バッテリーの膨張による故障と判明した場合、保証対象外となり、修理できないことがありますので、予めご了承ください。なお、保証対象外のため、修理可能な場合であっても有償修理となります。
- 安全のため、+60°以上では内蔵バッテリーは使用できません。

もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

<保管場所について>

- SDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。
- ・ 静電気が発生する場所
 - ・ 水に濡れたり、湿気が発生する場所
 - ・ 衝撃を受ける場所(曲げ・折り含む)
 - ・ 腐食性ガスが発生する場所

ファームウェア更新 & 取扱説明書更新

商品改善のため、商品のファームウェア更新、及び取扱説明書の内容も更新いたします。
詳しく内容は下記URL、あるいは最後に記載するサービスセンターにご連絡ください。

URL: <https://akeeyo.com/pages/support>

仕様

型番	AKY-V360
商品名	GPS搭載前後同時録画可能スマートミラー
記録	Micro SD/SDHCカード 8~64GB (※Class10推奨)
フロントカメラ	300万画素CMOSセンサー：1/3型 水平：360° 垂直：220° 1440×1440@24fps
リアカメラ	100万画素CMOSセンサー：1/4型 水平：120° 垂直：95° 1280×720@19fps
録画ファイル構成	1分/2分/5分
画面サイズ	10インチIPSタッチパネル液晶
マイク	高感度マイク内蔵 ※音声録音ON/OFF設定可能
スピーカー	1W/8Ω 1個
記録方法	常時録画/Gセンサー (衝撃感知)録画/静止画撮影/駐車監視モード(衝撃感知録画)
ファイル形式	動画：H.264(.MP4) 静止画：.JPEG
外部入力	専用リアカメラ入力(Φ2.5ミニジャック)
記録映像再生方法	PC再生専用ビューワー
画像分割表示	フロントワイドアングル/球面/前後(2画面)/ 左中央右(3画面)/マルチウィンドウ(4画面)
電源電圧	DC12V/24V 専用シガー電源ケーブル ヒューズ：2A リアカメラ：5V 0.1A
寸法	本体：約255(W)×72(H)×19.5(D)mm(突起部除く)
	リアカメラ：約72(W)×40(H)×28(D)mm(ステー含む)
重量	約355g(スマートミラー本体) 約35g(リアカメラ本体)
動作温度範囲	-10°C~+60°C

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にてご注文ください
※本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください

保証について

■免責事項

- 本製品を道路上での使用については、各地方自治体の条例、各都道府県の道路交通法に従ってください。本製品使用時の法的責任はすべて使用者にあり、本製品のメーカー、輸入会社、および販売会社は一切の法的な責任は負いません。
- 保証対象は製品の本体部分のみとさせていただき、本製品の故障または使用によって生じたお客様の保存データの消失、破損等について保証するものではありません。
- 弊社商品のご使用、または不具合、故障に於いて発生する、車両等の事故や障害、時間や利益の損失、不利益の補填に關しては、一切責任を負いかねます。
- 本製品で撮影した映像や画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。権利者に無断で使用・無断で複製、放送、レンタル・本人の同意なしに他人の肖像を撮影・SNSなど不特定多数に公開・公衆に著しく迷惑をかける不良行為などにより生じたトラブルについて、一切責任を負いかねます。
- 本製品がすべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 故障や使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損傷、破損による損害について、当社は一切その責任を負いません。
- 撮影映像は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 取扱説明書に従って正しく取り付けてください。道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けてください。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について、当社は一切の責任を負いかねます。

以下のような場合は保証の対象外となります。

※分解、改造したバッテリーを使用した場合。(バッテリーを分解、改造すると、破裂したり液漏れしたりすることがあります。)

※バッテリーの劣化。(バッテリーは消耗品のため)

※火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷した場合。

■製品保証

製品保証期間は、購入日から1年(本体以外のアクセサリー類は購入日から30日)です。ただし、ご利用される方の責による不具合、故障の場合には製品保証の対象外となる場合があります。

本取扱説明書の「安全にお使いいただくために」を必ずご覧ください。

必ず、ご購入後30日以内に商品のご確認をお願いいたします。商品ご購入後30日以内で弊社初期不良と判定する場合は、弊社指定の配達業者にて着払いで送付してください。

30日を過ぎますと、不良・検品に関しては修理扱いとなります。その場合の送料はご負担ください。交換および修理後の返送料は、弊社にて負担いたします。

■サポートセンター

Line



お問い合わせ先：サポートセンター

TEL : 048-888-0217

Line ID : msgroup01

Email : custservjp@yahoo.co.jp

9:30～19:00(土・日・祝祭日・年末年始除く)